



SMSCA

NEWS

一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会

No. 70

目次

- 1 p : 特別寄稿「県岳連の思い出 そして87歳の筑波山々行」 田中文男
- 2 p : 登山部 指導委員会 お知らせ
競技部 選手強化委員会 報告
「関東小中学生クライミング競技会 2020」
「第14回コバトンボルダリングカップ」
- 4 p : 会員投稿
秩父「琴平丘陵・大峰」 山口新二
八ヶ岳「正月のアイスギャラリー」 関根かおる
東吾野「阿寺の岩場」安全祈願祭
- 6 p : 「登山における新型コロナウイルス感染予防のために」 県警山救隊ニュース 4号から
新刊紹介「雪の屋久島」 新井靖雄著
- 7 p : 総務部 お知らせ、「編集後書」

《特別寄稿》

県岳連の思い出 そして87歳の筑波山々行

田中文男



筑波山 遠景

昨年、埼玉県山岳連盟の名称が変わった。埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、一般社団法人の資格を得た。その分、役員の責任は重くなった。もう任意団体ではないからだ。

しかし、ここは私のふるさと。長い間育ててくれた組織だ。大切に成長を見守りたい。必要なときはどんなサポートでもしよう。でも口は出さない。それが年長者の役割だからだ。

1955年、私の所属する浦和山岳会は創立された。私は創立メンバーのひとりだが当時のメンバーは残り少なくなった。なにしろあれから66年も経っている。残念ながら何名かは山で他界した。悲しい。

浦和山岳会の創立された時代、県内では幾つもの山岳会が誕生している。思い出せるだけでも

49年 秩父セメント山岳部。 55年 小川山の会。 56年 浦和溪稜山岳会。 57年 グループ・ド・ピオレ。 58年 熊谷アルム。 草加山岳会。

皆さん元気だった。若かった。あの当時の思いと願いを新しい県山協に託したい。山を愛する人にとって必要とされる組織であるよう祈念したい。そのためには新たな山岳会を創り、育て、協会に入ってもらいたい。活躍してもらいたい。それは未来に続く道だからだ。



筑波山 東屋 ケーキを前に

2021年2月27日（土曜日）

私の87歳の誕生日。この日はふるさとの山、筑波山に登ろうと思っていた。単独行の予定だった。会のチーフに山行届を出すとすぐに電話がかかってきた。数名の会員が同行するという。さては私が単独で筑波山に登りどこかで転落でもしたら大変だと思ったのかもしれない。

元・日本山岳協会々長、転落。名前に傷がついてしまうし、いい笑い者になる。

「それだけはなしにしよう」という仲間達の配慮だったのかもしれない。

同行者は5名。リーダーはM氏。大学生の時の入会だから在席50年以上だ。

海外登山の経験者も多い。

「下から歩きます。ケーブルには乗りません」とやさしく宣言された。

昼食の時間になった。

仲間の一人が取り出したのが大きなバースディケーキ。そしてローソク。全く型が崩れていなかった。考えもしなかったサプライズに私は驚く。この長い距離。そしてアップダウンの道をこわれないように努力して歩いてくれたのだ。

その気配りが嬉しくなった。「文さんは麺類が好きだから」と更に煮込みうどんまで出してくれた。

帰途、筑波山神社に参拝し山行は終わった。羽毛服を着なくても心が暖かくなった一日だった。

ふだん何もしない会長の突然の山行に、すぐ集まってくれる山仲間。これ以上の喜びはなかった。

帰宅してから思い出した。

「ケーキ代くらい払うべきだった」と。

※編集注

「特別寄稿」 田中文男氏

元・日本山岳協会(JMSCA)会長

現・埼玉県山岳・SC協会(SMSCA)名誉会長

さいたま市岳連「浦和山岳会」会長

広報委員会

登山部 指導委員会

指導員研修会・JMSCA 指導委員総会報告会

日時：6月20日 9:00～12:00

場所：浦和コミュニティセンター

(JR浦和駅東口パルコの10階13集会室)

1: JMSCA 指導員総会報告会

2: 指導員研修会(更新のための義務研修)

「スポーツ外傷について」

講師(防衛医科大学 伊藤正孝先生)

令和3年度登山技術に関する指導者の教育と研修、主任検定員養成講習会(A級・B級)及び上級指導員(コーチ2)養成講習会の実施について

記

主催 日本山岳・スポーツクライミング協会

主管 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会

1・期 日 令和3年11月6日(土)～7日(日)

開催場所 東吾野地区行政センター

2・クライミング会場：平戸、阿寺の岩場、他

3・集合場所 東吾野地区行政センター集会室

4・集合日時 11月6日(土)10:00

5・宿 泊 飯能市内

6・内 容 登攀技術研修会および主任検定員(A級・B級)養成講習会、コーチ2養成講習会

募集人員 研修会20名、主任検定員講習10名、

上級指導員(コーチ2)養成講習会10名

申込み 参加申込書を10月1日(月)まで、日本山

岳・スポーツクライミング協会事務局宛て

参加資格、応募の詳細についてはSMSCA・ホームページ及びパンフレットで近日中にお知らせします。

指導委員会

競技部 選手強化委員会

関東小中学生クライミング競技会2020を引率して

選手強化委員長 内海 信

11月29日、東名高速道路の渋滞を考慮し、幸手の自宅を朝4時30分出発しました、順調に進み過ぎ6時20分現地到着、朝の散歩から始まりました。7時30分頃から埼玉県内ナンバーの車に声をかけ、選手全員の出席を確認しましたが、8時50分の選手受付前に行方不明者発生、何とか見つけて受付を済ませる。また、アイソレーションから競技会場に移動する時にも、忘れ物多数(先が思いやられる。)



戦い始まる オブザベーション!

ホールドが冷たい中で予選開始、全種別核心部で団子状態になる、そこを抜けた選手が決勝にコマを進めた。

決勝のアイソレーション、山田航大・武石初音選手に付き添う。コロナの関係で室内が寒い、練習

壁のマットが薄く、着地に注意するように指示を出す。

そして決勝開始、山田航大選手思わぬ地点でフールしてしまい、実力を発揮できず6位に終る。

最後に登場の武石初音選手、順調に高度を稼ぎ、完登こそ逃したが、他の選手より高い地点に到達し、見事1位を獲得しました。(小池はな選手、第4・5回連覇以来です。)

今回の大会を開催するにあたり、神奈川県山岳連盟の皆様へ感謝と御礼を申し上げます。それと共に、各都県の選手強化の状況・若いスタッフの育成等、埼玉県より進んでいると感じました。

この大会で得た事を基に、更にレベルアップしたいと思います



一位となった武石初音選手

第14回コバトンボルダリングカップ2021

[第34回県民総合スポーツ大会]

開催日：2021年4月10日(土)

会場：ロッククラフト川越



難しいムーブ 優勝の金子千優選手

コロナ禍における、SMSCA主催のイベント「コバトンボルダリングカップ2021」に伺ってきました。

午前中はジュニアカップ、一瞬難しすぎるのではないかなと思わせる課題を次々に登りきっていく姿に圧巻。リーチのあるものでも柔軟な動きと雄叫びで、上手く切り抜けていきます。

そして何より、いい意味でしぶとい。全課題、諦めることなく時間ギリギリまでチャレンジし続けていました。午後はエキスパートカップ、グレードが明らかに上がりました。しかし、流石です。

経験値や一瞬一瞬の反射神経と判断力、体のキレが素晴らしい。ダイナミックな動き、粘りとの確かなムーブで登っていきます。

こんなに難しいルートを登れる人たちが、アルパインクライミングをしたら、どんなところでも登攀できてしまいますね。将来有望な埼玉の選手たちに、さらなる応援をしていきたいと思います。

そして、コロナ禍における難しい大会開催に最大限の注意を払い運営をされたスタッフの皆様にも感謝を申し上げ報告とさせていただきます。ありがとうございました。

文・写真 広報委員 高尾周太郎



渡邊海人選手 あと一手！

RESULT 速報

ジュニアチャレンジカップ 全出場選手 記録

ジュニアチャレンジカップ ユースD

- 1位 石田奏、 2位 栗原芽吹、3位 鈴木更紗
4位 都築明日美、5位 須賀千尋、
6位 小田美桜季

ジュニアチャレンジカップ ユースC男子

- 1位 松浦陽色、 2位 長森晴、 3位 秀間鈴弥
4位 竹村欧介、 5位 浦野煌太、6位 深浦奏貴
6位 高橋宗太、 6位 岡田琥珀、9位 池内雪村
10位 多ヶ谷遥輝

ジュニアチャレンジカップ ユースC女子

1位 渡邊瑞妃、2位 稲垣杏、3位 猪鼻美来
4位 樫村夕渚

ジュニアチャレンジカップ ユースB男子

1位 坂本大、2位 中山太陽、3位 吉内明日夢
4位 今井晴登、5位 阿部壮吾、6位 田村寧風

ジュニアチャレンジカップ ユースB女子

1位 金子千優、2位 牛山由加里、3位 秀間美羽
4位 横山瑞穂、4位 酒井希縫

エキスパートカップ

全出場選手 記録

エキスパートカップ 少年男子

1位 猪鼻碧人、2位 山田航大、3位 譲原大智
4位 大竹那月、5位 牧田岳、6位 中嶋颯汰
7位 池原悠太、8位 石井海翔、9位 関口駿翔
10位 折田正宗

エキスパートカップ 成年女子・少年女子

1位 武石初音、2位 野部七海、3位 小池はな
4位 坂井絢音、5位 大澤苺花、6位 川端美央
7位 山中琴美、8位 増田呼春

エキスパートカップ 成年男子

1位 渡邊海人、2位 本間大晴、3位 鶴隼人
4位 百合草碧皇、5位 川口翔真、6位 白石祥太郎

SMSCA・HP でリザルト詳細の確認ができます。

(<https://www.smsca.or.jp/1957/>)

選手強化委員会

~~~~~

## SMSCA 会員投稿

## 忘年山行 秩父「琴平丘陵」・「大峰」

## 参加者

井上会長、CL 岩武、SL 森松、SL 山口、SL 飯田、坂口、加藤、岡田、萱森、須田、山名 計11名



展望台から両神山 梵天尾根

## 日程・コースタイム

12/12(土)～12/13(日) 1泊2日

## ●12/12(土)

花園道の駅 7:10⇒大淵寺 7:50、琴平丘陵 登山口  
⇒護国観音 9:00⇒岩井堂 9:30、四阿があり休憩  
10:00⇒大山祇神(おおやまつみのかみ)10:17⇒秩父線 22 鉄塔 11:07⇒羊の牧場⇒羊山公園 P 付近  
11:15 着、羊山公園付近でミニ講習会実施、負傷者搬送、ツエルトを利用して風雨をしのぐ 被る、ツエルト張り方等応用。羊山公園 13:00  
⇒影森駅 13:10⇒小鹿神社 13:40 着⇒民宿；山里 14:45 着、「同所でUDAC 総会」

## ●12/13(日)

民宿；山里 7:50⇒二瀬ダム 8:30 着⇒栃本広場 8:45  
⇒二瀬ダム 9:00(大黒山・大峰 登山)二瀬ダム 9:15 発⇒大黒山 10:30⇒元気プラザ展望台 10:55⇒大峰 12:00⇒栃本広場付近 12:40(栃本広場 稜線付近でミニ講習会実施；スピードロープの使い方等)、13:00～14:00 実施栃本広場 14:15 発⇒二瀬ダム 14:30 発⇒大滝道の駅 遊蕩館⇒解散

## 感想

コロナ 第3波で感染が増える中、実施に苦労したが、11名の参加者の協力を得て何とか実施できました。

琴平丘陵は歴史的文化財が多く、自然と札所巡礼文化財に触れる山行と思います、大峰は秩父栃本地区の静かな山間で元気プラザや・大黒山等を巡る山旅であった。

またミニ講習会はいざというとき役立つ意味で有意義と思うが、1度やれば終わりではなく、同じことを何回も何回も繰り返して身に着くと思います。

天気にも恵まれ、11名参加で事故も無く安全登山で終わったことは最大の成果と思います。

UD・A・C 事務局 山口新二



大峰山頂で全員集合



## 八ヶ岳・夏沢鉱泉

### 正月の「アイスギャラリー」

日程：2021年1月1日～2日

山行場所：八ヶ岳・アイスギャラリー



凍結した大滝を前に

メンバー：UIAGM/JMGA 熊田, MGA 柳瀬が他

昨年、赤岳鉱泉のアイスクャンデーでアイスクライミングを始めて体験し、天然の氷の壁を登るのは今回が初めてでした。

1月1日(木) 曇り

入山～鉱泉～G3のF1～鉱泉

鉱泉を11時に出て、G3のF1に向かいました。その日は、先行のグループが1組、私たちの後から1組の入渓でした。熊田・柳瀬ガイドにトップロープを張っていただき、12時前くらいから登り始めました。アックスを刺す場所の目安や、姿勢など、ガイドお二人の熱心な指導を受け、楽しく登る事ができました。15時過ぎに終了し、柳瀬ガイドと私は2日目に行くG4のF1の偵察をしてから鉱泉に戻りました。G4のF1へはトレースはなく年末は誰も入ってなかったようです。鉱泉での食事はお正月らしいメニューでお酒が進みました。

1月2日(金)

曇り 鉱泉～G4のF1～鉱泉～帰宅

8時30分に鉱泉をでて、昨日のトレースをG4のF1へ向かいました。1日目より大きな氷壁で、初心者の私には登りごたえ充分でした。この日、G4のF1に入ったのは私たちだけだったようです。

11時過ぎに撤収し鉱泉に戻りました。初めての天然の氷の壁で、クライミングとは違った難しさや、危険度に驚きましたが、面白さもあり、充実した2日間でした。

文・写真 山岳同人 埼玉 関根かおる

※編集注 夏沢鉱泉からオーレン小屋へ夏沢沿いに少し登ったところの「峰の松目」北面支流にできる氷瀑群のことで、下流側から順番にG1～G4と名付けられている。G1＝ギャラリー・1 G2＝ギャラリー・2

~~~~~

「阿寺の岩場」令和3年度安全祈願祭



基部テラスにて祈願祭

4月18日 恒例の「阿寺の岩場」安全祈願祭をクライミング入門道場（山岳同人埼玉 代表）大野主宰により開催、無事故・安全を祈願しました。

昨年に引き続きコロナ禍のなか、感染を避けるため極一部の関係者のみでの開催とし、祝詞、御祓い、参加者の玉串奉典、ご芳志頂いた方の読上げ、直会（なおりい）と進み予定通りにはほぼ終了。

参加者は22名、世話役は虎秀やまベクラブ加藤会長、参加者は他岳連の皆さん、SMSCAから森下顧問、石倉会長、秋庭参与、山口(UDAC)、轟(JAC 埼玉支部)、地元会から植松、三田村、関根、林の諸氏が参加。式典の終了後、皆野署・林署員から飯能における遭難事案から山岳遭難防止の大変有意義な話を聞き、現地解散しました。（敬称略）

山岳同人埼玉 事務局 岩井田正昭



左端 トンコちゃんスラブ 5.7-5.8

登山における新型コロナウイルス

感染予防のために

登山においても日常生活と同様に新型コロナウイルス感染防止対策が必要です。次の事項を参考にし、感染防止に留意した登山を実践しましょう。

登山前

- 体調不良や発熱がある場合は、登山を中止しましょう。また、2週間前からの行動を振り返り、新型コロナウイルスに感染した人と接触していた場合も登山を中止しましょう。
- 登る山が入山規制等されていないか、自治体の情報を確認しましょう。
- 混雑時期を避け、少人数での入山を心掛けましょう。
- 登山中は、体に負荷が掛かり呼吸が荒くなることにより、いつも以上に飛沫が飛ぶと言われています。飛沫による感染防止のため、マスク（ネックゲイター）やゴム手袋を携行し、活用できるようにしましょう。山中では、水を利用した十分な手洗いができないため、消毒液等を携行し、活用できるようにしましょう。
- 宿泊を伴う場合は、山小屋、テント場の営業状況（定数制限、事前予約、必要な持ち物等）を確認しましょう。

登山中

- 「他の登山者と2メートル以上の間隔を保つ」「他の登山者の真後ろを避ける」などのソーシャルディスタンスを意識し距離を保ちましょう。
- 他の登山者との不必要な会話は、なるべく避けましょう。
- 混雑時や休憩中、山小屋内では、マスク等を着用しましょう。
- 体調不良を感じた場合は、無理せず下山をしましょう。

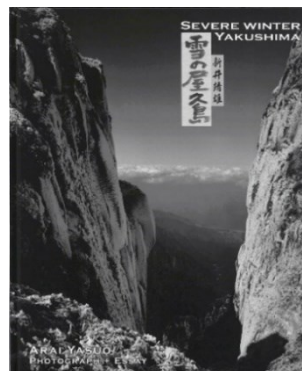
下山後

- 店等への立ち寄りが必要最低限にしましょう

「街中では 密閉・密集・密接 を避けて」

令和2年埼玉県警察山岳救助隊 発行
「第4号山岳救助隊ニュース」より転載

新刊紹介「雪の屋久島」新井靖雄著



雪の屋久島 表紙

秩父山岳連盟副会長・霧藻ヶ峰小屋管理人（広報委員会審査担当）の新井靖雄さんが昨年11月に念願の写真集を上梓しました。「雪の屋久島」すばらしい情景を是非ご覧になって下さい。

解説ご案内は出版社・言叢社（げんそうしゃ）
島様による書籍紹介文から部分抜粋しました。

広報委員会

○新井靖雄さんのこと

新井さんは、秩父市の消防署で働きながら、山岳写真を主に撮っていた人で、今は秩父山岳連盟の副会長（会長は清水武司氏）、停年後の仕事として、夏場は山小屋の管理人をつとめています。

もちろん秩父の山の写真がいちばんのライワークですが、消防の仕事で退職後、屋久島に旅して山の雪に出会い、いたく心を奪われた。以後、たびたび屋久島行をおこない、これまで紹介されてこなかった屋久島の雪の風景を核とした『厳冬の屋久島』（仮題）の写真集を出したいという希望をいだいた。そこで師であった清水武司先生の写真集を多く手がけてきた言叢社の島さんに刊行をしてもらいたい、という希望で、武司先生の子息である清水武司さんと一緒に、小社を訪ねてこられました。

○本写真集への過程

撮影した2,300余点から著者が200点前後のモノクロ作品を選んだ。その後、現在の印刷表現にも精通する写真家・写真批評家の島尾伸三氏が編集にくわわり、その独得の感性でさらに70枚に絞りこみ、モノクロ・ダブルトーン印刷でいく、と決定。印刷を光村印刷にお願いした。

命がけでいどんだ著者の厳冬の屋久島の自然、その裸形の実存につきあたっているような風景の世界があらわになっていると思います。そしてまたこの裸形の実存から、著者がまっすぐに向きあった世界＝人生さえもが浮かびあがってきます。写真集は版型A4変 112ページ、3,800円（税別）

発行年月日 2020年11月 出版社 言叢社
 お問合せは 新井靖雄宅 (FAX0494-23-9146)
 版元・言叢社 (げんそうしゃ) (03-3262-4827)
 ~~~~~

## 総務部 広報委員会

### 2022年カレンダー写真募集 概要

#### \*\*\*\*\* 募集要項 \*\*\*\*\*

山岳文化の向上と当協会の広報活動を目的として「埼玉県山岳・スポーツクライミング協会カレンダー」を皆様の写真を用いて作成します。入選作品13点を「2022年カレンダー」に掲載します。テーマは「四季の山岳景観と登山スナップ／山野の動植物」、または「クライミングでの一コマ」  
 応募者全員に、参加賞として完成版カレンダー1部と審査員(プロ写真家)のアドバイス／コメントが返送されます。

◇題 材：「四季の山岳景観と登山スナップ／山野の動植物」、「クライミングでの一コマ」等

◇応募資格：当協会所属団体の会員

◇応募規定：

- (1) 作品は、近年撮影の無修正のデジタル作品。  
 ファイル形式はTIFFまたはJPEGとする。
- (2) 応募作品は1人4点以内。作品ごとの「画題、撮影場所、撮影年月日、氏名、所属山岳会、住所、電話番号」をメール本文中に記入のこと。4点のファイルサイズ合計を10MB以下にしてください。
- (3) 採用作品の著作権は埼玉県山岳・スポーツクライミング協会に帰属します。
- (4) 採用作品のカレンダー掲載のためのトリミングは審査員に一任させていただきます。

◇応募期間：2021年7月1日～8月31日

広報委員会 カレンダー担当

~~~~~

表彰

日本山岳・SC協会(JMSCA)から「創立60周年特別功労表彰」が発表されました。埼玉県山岳・SC協会(SMSCA)から下記6名の会員を推薦、全員受賞されました。コロナ禍の影響で表彰式は開催されず賞状は各自に送付されました。

受賞者 所 属

大野文雄 : 山岳同人埼玉 代表
 大山光一 : 日本山岳会 埼玉支部長
 風間進 : 元 SMSCA 海外登山委員長・参与
 鈴木百合子 : SMSCA 海外登山委員長
 野本政之 : 加須市山岳連盟会長
 堀江伸子 : 元 SMSCA 自然保護委員長

2021/03/14 埼玉県スポーツ協会から令和2年度「埼玉県スポーツ賞」が発表され下記3名方々が受賞されました。

優秀選手賞：百合草碧皇 ※1

優秀選手賞：小池はな

功 労 賞：鈴木百合子 SMSCA 海外登山委員長
 JMSCA 国際アルパインクライミング副委員長

※1 百合草選手は次期「パリ」オリンピック代表選手候補。

~~~~~

### 加盟団体 動向のお知らせ

入 会：令和3年4月付

「自由登山の会 TinTin(ティンティン)」さいたま市浦和区  
 代表者：鈴木百合子 SMSCA 理事、海外登山委員長

~~~~~

退 会：令和3年3月31日付

「山狂舎」代表：横山伊左夫 さいたま市岳連
 創立時「稜線の仲間」昭和44年(1969年)、後にヤングハイキング⇒SRS 同人⇒山の童夢創造センター ⇒山狂舎(2012年)⇒令和2年(2020年解散)
 数回にわたり改名。一時は120名を超す団体、元会員複数名が退会後、旧浦和市岳連・所属団体に在籍、活躍の時期があった。

~~~~~

退 会：令和3年3月31日付

「壁稜山岳会」会長：木部千代子 熊谷市岳連  
 創立は昭和25年(1950年)、旧埼玉岳連創立(1955年)より5年前から活動されていた古参の会。海外の高山にも遠征、マッキンリー、カラコルム ハマモシュ、ジョラス、マッターホルン北壁等

~~~~~

【編集後書】

県山協(SMSCA)が創立65年経過し記念号と意気込んだがコロナ禍で断念、元会長に無理にお願いし原稿入手、その意気込みにトップページに上梓しました。暖かい山仲間の触れ合いに思わずほっこり。70周年にまた原稿のお手数かけます。コロナに負けず、山に行きましょう！ 岩井田正昭

(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会

SMSCA news 70号

発行日 令和3年4月30日

発行者 石倉 昭一

事務所 〒362-0037

上尾市上町2丁目6番7-302号

info@smsca.or.jp

編集者 広報委員会

URL <https://www.smsca.or.jp/>

ALP K2®



自 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。
あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。
医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

季 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の活動を応援している
田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております